

鷺巣敦哉氏著『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』（台湾警察協会、昭和 18 年 9 月 20 日刊）・雑誌『台湾地方行政』比較対照表（四訂稿）
—『鷺巣敦哉著作集』Ⅳ（『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』：
緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊）参考資料—
（令和 4（2022）年 7 月 28 日（木）現在）

（補正経緯）

平成 12（2000）年 9 月 3 日（日）初稿作成
平成 15（2003）年 8 月 1 日（金）改訂稿作成
（HP 初出）平成 20（2008）年 2 月 11 日（月）再訂稿作成
平成 26（2014）年 11 月 14 日（金）三訂稿作成
（一部補正、追加）
令和 4（2022）年 7 月 28 日（木）四訂稿作成
（レイアウト全面変更、一部補正、追加）

（参考）

- ・本稿は、かつて『鷺巣敦哉著作集』（Ⅰ～Ⅴ）緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊、（別巻）同、平成 14 年 1 月 31 日刊）編集時に備忘のために作成した資料の一つである。
- ・鷺巣敦哉氏の著作目録全体については、中島利郎教授編「鷺巣敦哉著作目録」（『鷺巣敦哉著作集』Ⅴ（雑誌所収著作、緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊）解説 9～20 頁）参照。
- ・鷺巣敦哉氏につき、下記本 HP 別稿各参照。（平成 26 年 11 月 14 日一部補正）
 - ・「鷺巣敦哉と『台湾総督府警察沿革誌』の編纂について—日本統治下台湾警察史の一齣—」
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu001.pdf>>
 - ・「鷺巣敦哉氏著作目録抄—日本統治下台湾警察史の一齣—」
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu002.pdf>>
 - ・「『鷺巣敦哉著作集 補遺』（緑蔭書房、平成 26 年 7 月 31 日刊）概要」
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu003.pdf>>

〔目 次〕

- 1 『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』各章初出表 ……………2
- 2 『台湾地方行政』掲載論稿の『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』
及び『鷺巣敦哉著作集』収録状況表（:以下に状況を示す。） ……………4
- 【附録】本 HP 掲載鷺巣敦哉氏関係資料一覧……………6

1 『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』各章初出表

鷺巣敦哉氏（1896～1942）遺著『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』（台湾警察協会、昭和18（1943）年9月20日刊）¹は、雑誌『台湾地方行政』²掲載の「爐辺夜話 台湾統治回顧談」を補正し、整理したもの（うち、19と「附」は別。）であるが、同書各章の初出稿を、それぞれ下欄に示した。ただし、厳密な対照はしておらず、おおよそのものである。この中で、序言、17、18、19については、特に大幅な改訂が加えられている。なお、同書の最新の内容としては、370頁に昭和16（1941）年12月8日の大東亜戦争勃発後の情勢に敷衍した記述がある。当時鷺巣は上京中であり、その逝去は翌昭和17（1942）年3月であるから、最後まで同書に手をいれていたものと思われる。

同書の印刷人は、東京市本郷区真砂町36日東印刷株式会社亀谷良一氏で、鷺巣敦哉氏の『台湾保甲皇民化読本』（自己出版、昭和16年6月20日初版。台湾警察協会、昭和16年8月31日訂正増補再版。同、同年11月20日第三版。第三版は、『鷺巣敦哉著作集』Ⅲ（緑蔭書房、平成12年12月10日刊）として収録。）の印刷人と同一人である。この日東印刷株式会社及び亀谷良一氏と鷺巣敦哉氏との関係については、追って調べてみることにしたい。

『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』章立て

：初出（『台湾地方行政』所収）論稿

はしがき

：「爐辺夜話 台湾統治回顧談」序言（『台湾地方行政』第4巻第7号77頁）（同書「はしがき」は別の稿）

1 日清開戦の顛末—1頁

：第一話 日清開戦顛末（第4巻第7号78頁）

¹ 鷺巣敦哉『台湾保甲皇民化読本』第三版（昭和16年11月20日刊。『鷺巣敦哉著作集』Ⅲ）「巻末広告」で、当時既に『爐辺夜話 台湾統治回顧談 台湾の領有と民心変化の巻』（自己出版、定価1円60銭、四六版約400頁）（昭和15年か16年刊？。未発見。）なる書籍がおそらく自己出版で出ていることが判明するが、未発見であり、これがいかなるものかは不明である。おそらく鷺巣氏の死後これを改題の上遺著の形で改めて公刊したものが本書とも推測されるが、なお今後の課題である。このあたり中島利郎教授執筆の『鷺巣敦哉著作集』Ⅳ所収「IV『台湾統治回顧談』解説」3頁に詳しい。御参照を乞う。また、本書関連著作として、『鷺巣敦哉著作集』別巻363～372頁所収論稿及び同巻解説473～474頁をも併せ参照。なお、同書の編集人、発行者である篠原哲次郎氏（筆名 志能鏑川）は台湾警察協会幹事で、長く『警察時報』編集主幹であったことから、台湾警察教養史上重要な地歩を占めており、また、鷺巣氏との個人的関係も深かったと思われることから、今後詳しく検討されるべき人物かと思われる。（平成26年11月14日追加）

² 『台湾地方行政』について、限定版ではあるが中島利郎（1947～）編『『台湾地方行政』総目・人名索引〔試行本〕』（緑蔭書房、平成21年9月20日刊）参照。ただし、現時点での最終刊行確認号は『地方行政』第2巻第1号（昭和20年1月15日刊）である。（平成26年11月14日追加）

- 2 日清媾和と台湾領有のいきさつ－13 頁
： 第二話 日清媾和と台湾領有のいきさつ（第 4 卷第 8 号 57 頁）
- 3 台湾の接收－28 頁
： 第三話 台湾島〈マ〉の接收（第 4 卷第 9 号 70 頁）
- 4 始政式典を挙ぐるまで－43 頁
： 第四話 始政式典を挙ぐるまで（第 4 卷第 10 号 77 頁）
- 5 台湾の平定成る－ 59 頁
： 第五話 台湾の平定成る（第 4 卷第 11 号 93 頁）
- 6 台湾統治受難の時代－77 頁
： 第六話 台湾統治受難の時代（上）（第 4 卷第 12 号 86 頁）
： 第七話 台湾統治受難時代〈マ〉（下）（第 5 卷第 1 号 103 頁）
- 7 土匪の跋扈と其の掃蕩（上）－108 頁
： 第八話 土匪の跋扈と其の掃蕩（上）（第 5 卷第 2 号 85 頁）
： 第八話 土匪の跋扈と其の掃蕩（中）（第 5 卷第 3 号 155 頁）
： 第八話 土匪の跋扈と其の掃蕩（下）（第 5 卷第 4 号 82 頁）
- 8 日露戦争と台湾－152 頁
： 第九話 民情の変遷を主として（A）（小題なし。）（第 5 卷第 7 号 96 頁）
- 9 大小反乱（陰謀事件）続出時代－166 頁
： 第九話 民情の変遷を主として B 〈マ〉 大小反乱続出の時代（第 5 卷第 8 号 101 頁）
- 10 所謂台湾同化会事件－183 頁
： 第九話 民情の変遷を主として C 〈マ〉 所謂台湾同化会事件（第 5 卷第 10 号 86 頁）
- 11 学生と文化協会と台湾議会－197 頁
： 第九話 民情の変遷を主として D 〈マ〉 学生と文化協会と台湾議会（第 5 卷第 11 号 58 頁）
- 12 思想界の分裂混乱より小康を見るまで－225 頁
： 第九話 民情の変遷を主として E 〈マ〉 分裂混乱〈マ〉より小康を見るまで（第 6 卷第 1 号 55 頁）
- 13 对本島人策の幾変遷－245 頁
： 第十話 風俗習慣の変遷竝に皇民化運動（A）（第 6 卷第 2 号 43 頁）
- 14 風俗習慣の変革－260 頁
： 第十話 風俗習慣の変遷拉〈マ〉皇民化運動（B） 三大弊風その随一阿片吸食の悪習、纏足の由来と其の消滅（等）（第 6 卷第 3 号 115 頁）
- 15 風俗改良会の誕生と其の活動－289 頁
： 第十一話 風俗改良会の誕生と其の活動（第 6 卷第 5 号 79 頁）
- 16 国語普及熱の過去及現在－305 頁
： 第十話 民情風俗〈マ〉の変遷と皇民化運動（B） 〈マ〉 国語普及〈マ〉の過去及現在（第 6 卷第 4 号 184 頁）

17 同化論、非同化論議－324 頁

：第十三話 皇民化問題に関する二三の考察（上）（第6巻第9号64頁）

18 皇民化問題を顧みて－339 頁

：第十四話 〈ママ〉 皇民化問題に関する二三の考察（下）（第6巻第12号34頁）

19 民風漸く一変？－367 頁

：総督政治の大飛躍“起て！本島有識階級”（第7巻第8号46頁）

附 本島民兵役志願制度の回顧－377 頁

：本島民兵役志願制度の回顧（第4巻第3号81頁）

2 『台湾地方行政』掲載論稿の『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』及び『鷺巣敦哉著作集』収録状況表（：以下に状況を示す。）

（昭和12（1937）年）

① 台湾地方行政の四十年史話（一）（第3巻第1号67頁）：単行書未収録 ⇒後に『鷺巣敦哉著作集』V（緑蔭書房、平成12年12月10日刊）に収録。

① 台湾地方行政の四十年史話（二）（第3巻第2号123頁）：単行書未収録 ⇒後に『鷺巣敦哉著作集』Vに収録。

① 台湾地方行政の四十年史話（三）（第3巻第3号48頁）：単行書未収録 ⇒後に『鷺巣敦哉著作集』Vに収録。

① 台湾地方行政の四十年史話（四）（第3巻第4号94頁）：単行書未収録⇒後に『鷺巣敦哉著作集』Vに収録。

（昭和13（1938）年）

② 本島民兵役志願制度の回顧（第4巻第3号81頁）：『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』（台湾警察協会、昭和18年9月20日刊。以下『同書』。）に収録（附〈377頁以下〉） ⇒後に『鷺巣敦哉著作集』IV（緑蔭書房、平成12年12月10日刊）に収録（以下同IVに収録の件は省略。）。

③ 爐辺夜話台湾統治回顧談

序言（第4巻第7号77頁）：『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』（以下「同書」）「はしがき」とは別のもの（単行書未収録 ⇒後に『鷺巣敦哉著作集』別巻〈緑蔭書房、平成14年1月31日刊〉363頁に収録。）

第一話 日清開戦顛末（第4巻第7号78頁）：同書1 日清開戦の顛末（1頁以下）

第二話 日清媾和と台湾領有のいきさつ（第4巻第8号57頁）：同書2 日清媾和と台湾領有のいきさつ（13頁以下）

第三話 台湾島の接收（第4巻第9号70頁）：同書3 台湾〈ママ〉の接收（28頁以下）

第四話 始政式典を挙ぐるまで（第4巻第10号77頁）：同書4 始政式典を挙ぐるまで（43頁以下）

第五話 台湾の平定成る（第4巻第11号93頁）：同書5 台湾の平定成る（59頁以下）

第六話 台湾統治受難の時代（上）（第4巻第12号86頁）：同書6 台湾統治受難の時代（77頁以下）

（昭和14（1939）年）

第七話 台湾統治受難時代〈ママ〉（下）（第5巻第1号103頁）：同書6 台湾統治受難の時代（77頁以下）

第八話 土匪の跋扈と其の掃蕩（上）（第5巻第2号85頁）：同書7 土匪の跋扈と其の掃蕩（108頁以下）

第八話 土匪の跋扈と其の掃蕩（中）（第5巻第3号155頁）：同書7 土匪の跋扈と其の掃蕩（108頁以下）

第八話 土匪の政雇と其の掃蕩（下）（第5巻第4号82頁）：同書7 土匪の跋扈と其の掃蕩（108頁以下）

第九話 民情の変遷を主として（A）（小題なし。）（第5巻7号96頁）：同書8 日露戦争と台湾（152頁以下）

第九話 民情の変遷を主としてB〈ママ〉 大小反乱続出の時代（第5巻第8号101頁）：同書9 大小反乱（陰謀事件）続出時代（166頁以下）

第九話 民情の変遷を主としてC〈ママ〉 所謂台湾同化会事件（第5巻第10号64頁）：同書10 所謂台湾同化会事件（183頁以下）

第九話 民情の変遷を主としてD〈ママ〉 学生と文化協会と台湾議会（第5巻第11号58頁）：同書11 学生と文化協会と台湾議会（197頁以下）

（昭和15（1940）年）

第九話 民情の変遷を主としてE〈ママ〉 分裂混乱より小康を見るまで（第6巻第1号55頁）：同書12 思想界の〈ママ〉 分裂混乱より小康を見るまで（225頁以下）

第十話 風俗習慣の変遷竝に皇民化運動（A）（第6巻第2号43頁）：同書13 対本島人策の幾変遷（245頁以下）

第十話 風俗習慣の変遷竝に〈ママ〉 皇民化運動（B） 三大弊風その随一阿片吸食の悪習、纏足の由来と其の消滅（等）（第6巻第3号115頁）：同書14 風俗習慣の変革（260頁以下）

第十話 民情風俗〈ママ〉 の変遷と皇民化運動（B） 国語普及の過去及現在（第6巻第4号184頁）：同書16 国語普及熱〈ママ〉 の過去及び現在（305頁以下）

第十一話 風俗改良会の誕生と其の活動（第6巻第5号79頁）：同書15 風俗改良会の誕生と其の活動（289頁以下）

第十二話 台湾に於ける内地人（第6巻第9号64頁）：単行書未収録 ⇒後に『鷺巣敦哉著作集』V526頁以下に収録。

第十三話 皇民化問題に関する二三の考察（上）（第6巻第9号64頁）：同書17 同化論、非同化論議（324頁以下） ⇒後に同稿中「はしがき」のみ『鷺巣敦哉著作集』別巻364、365頁に収録。

第十四話〈ママ〉 皇民化問題に関する二三の考察（下）（第6巻第12号34頁）：同書18 皇

民化問題を顧みて（339 頁以下）

（昭和 16（1941）年）

④ 台湾統治回顧談（官場の巻一）総督府の設置と地方行政草創の苦心（第 7 巻第 2 号 60 頁）：単行書未収録 ⇒後に『鷺巣敦哉著作集』V536 頁以下に収録。

④ 台湾統治回顧談（官場の巻二）総督府官制の四十五年（上）（第 7 巻第 3 号 122 頁）：単行書未収録 ⇒後に『鷺巣敦哉著作集』V547 頁以下に収録。

⑤ 総督府政治の大飛躍“起て！本島有識階級”（第 7 巻第 8 号 46 頁）：同書 19 民風漸く一変（大幅な改訂あり。367 頁以下）⇒当該雑誌所収論稿そのものを後に『鷺巣敦哉著作集』別巻 366 頁以下に収録。

【附録】本 HP 掲載鷺巣敦哉氏関係資料一覧（令和 4（2022）年 7 月 28 日追加）

・「鷺巣敦哉氏と『台湾総督府警察沿革誌』の編纂について—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu001.pdf>〉

・「鷺巣敦哉氏著作目録抄—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu002.pdf>〉

・「『鷺巣敦哉著作集 補遺』（緑蔭書房、平成 26 年 7 月 31 日刊）概要—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu003.pdf>〉

・「『鷺巣敦哉著作集』V（「雑誌所収著作」：緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊）、同別巻（「警察試験叢書・雑誌所収著作補遺・索引」：同、平成 14 年 1 月 31 日刊）及び『鷺巣敦哉著作集 補遺 警察試験叢書（続）・雑誌所収著作補遺（続）・索引』（同、平成 26 年 7 月 31 日刊）所収論稿一覧—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisukiko.pdf>〉

・「鷺巣敦哉氏著『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』（台湾警察協会、昭和 18 年 9 月 20 日刊）・雑誌『台湾地方行政』比較対照表（三訂稿）—『鷺巣敦哉著作集』IV（『台湾統治回顧談〈台湾の領有と民心の変化〉』：緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊）参考資料— 日本統治下台湾警察史の一齣—」（本稿）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisukaiko.pdf>〉

・「東方孝義・鷺巣敦哉両氏共編『警察語学試験問題及解答集』（警察試験叢書第四編、自己出版、昭和 10 年 11 月 30 日刊）の再発見—日本統治下台湾警察語学教養の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/higashikata001.pdf>〉

・「鷺巣敦哉氏『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』及び台湾総督府警察官及司獄官練習所『練習生必携』（昭和 19 年 1 月刊）—警—最近台湾再発見の日本統治下台湾警察史関係希観書二題— 日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisutebiki.pdf>〉

・「村上収氏の御逝去を悼みて—『台湾総督府警察沿革誌 第二編 領台以後の治安状況 中巻 —台湾社会運動史—』編纂過程の究明によせて— —日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/murakami001.pdf>〉

・「木村貞次郎氏台湾語関係著作目録抄—日本統治下台湾警察語学教養の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kimura001.pdf>〉

(了)